

第6学年 社会科学習指導案

1 単元名 江戸から東京へ「明治の国づくりを進めた人々」（東京書籍6年上）

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容（1）キ「黒船の来航，明治維新，文明開化などについて調べ，廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。」及びク「大日本帝国憲法の発布，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて調べ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。」を受けて設定したものである。幕末の黒船来航から明治後期の大日本帝国憲法の発布，国会開設までの歴史的事象を取り上げ，具体的に調べることを通して，我が国は廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進め，国力を充実させようとしたことが分かるようにすることをねらう。江戸時代後期から明治時代初期・中期は，変化が大きかったことから，これまでに学んだ時代との比較を通して，政策の内容やその効果，社会への影響について考えやすい単元である。

特に本単元では，選挙権の拡大について重点的に取り扱う。昨年引き下げられた18歳選挙権を含め，明治時代から続く選挙権の変遷を提示することで，現在の選挙権にはどのような思いが込められているのかという歴史から現在のつながりを考えるのに適切である。また，6年後選挙権をもつ児童にとって時代背景から歴史を学ぶ意味を考えさせる上でも大変意義深いものであると考える。

- 本学級は，歴史の学習に対して興味をもっている児童が多い。図書室で伝記を借りたり，教室でも隙間時間に歴史に関する本を読んだりする姿が多くみられる。一方で，歴史の学習に対して苦手意識をもっている児童もいる。事前アンケートの結果から，苦手な理由として歴史に関する用語が難しかったり，時代と出来事や人物が交錯してしまったり，資料からの読み取りが難しかったりしている児童がいることが分かった。また，佐賀県小・中学校学習状況調査を基にした調査問題の解答状況から，資料を読み取る力や読み取ったことを基にどのようなことが考えられるのか自分の言葉で説明する力に課題が見られた。

1学期からの歴史の学習の様子から，児童は，歴史的な事象を過去の出来事として理解しようとしている一方で，過去の出来事が現在につながっていたり，過去の出来事を将来の発展に生かしたりすることについて考えることは難しいようである。また，1学期から社会の学習だけでなく，様々な教科において3人組で課題に取り組む活動を取り入れている。3人組の話合いの中では，伝え合い，教え合いができるようになってきている。

- 指導に当たっては，学習問題を2段階で設定する。まず，学習問題Ⅰ「江戸時代から明治時代には，どんなことが原因でどのように変化したのだろうか」を設定し，明治の国づくりについてまとめさせる。次に，明治維新による変化の一つとして選挙に焦点を当て，学習問題Ⅱ「なぜ明治政府は，一部の人にしか選挙権を与えなかったのだろうか」を設定し，学習問題Ⅰでまとめた時代背景を基に，学習問題Ⅱについての自分の考えをもたせる。このように単元で学んだ知識を活用させる場を設定することで，知識を定着させ，歴史から現在のつながりを考える力をねらう。その中で，資料から「分かること」を読み取らせ，それを基に「考えられること」を「分かること」と区別して考えるように促す場を取り入れる。また，学習問題Ⅱの追究活動では，学んだ時代背景を基に，自分の考えの根拠となる資料を示して説明をさせる活動を取り入れる。

「学習問題をつかむ」過程で，まず，現在の学校の様子と明治時代の学校の様子，江戸時代の寺子屋の様子を比べ，明治時代を軸として20年前の江戸時代と140年後の現在の変化の大きさの違い

に気付かせる。これまでの学習で、時代が変わるごとにきっかけとなる出来事があり、衣食住や文化（人々の楽しみ）、技術、政治の面などが変化してきたことを確認し、それらを視点にして変化を調べさせる。この際に児童から出た気付きや疑問を基に、学習問題Ⅰを設定し、予想を立てさせ、以降の学習の見通しをもたせる。

「調べる」過程では、「学習問題をつかむ」過程で取り上げた視点について、教科書、資料集、「NHK for School」の映像などを使って順に調べさせていく。まず、考え方や身分の視点の変化を調べさせる。福沢諭吉や岡倉天心などの思想家の業績や解放令について調べさせることを通して、人々の考えが変化してきたことや身分制度で苦しめられた人々も身分上では解放されたことを捉えさせる。これにより、変化は外に見えるものだけでなく人々の内面にもあったことに気付かせる。次に、変化の原因について調べさせる。ペリー来航や欧米との不平等条約により、欧米に負けない国づくりを進めたことや改革を行ってきた人物や改革に不満をもつ人々がいたことを調べさせる。その際、1つの資料から「分かること」と「考えられること」を区別させた読み取りの指導や複数の資料から総合的に「考えられること」を導き出す指導、「なぜそのようなことをしたのか」ということが時代背景を基に考えられる指導を行う。このようにして、資料を読み取る力や読み取ったことを表現する力を育てたい。さらに、調べさせる中で、平等であるという考え方や幕府の政治への不満の高まり、自由民権運動が全国に広まったことから、明治時代になって初めて選挙権が与えられたことに注目させる。その上で、児童の疑問を基に学習問題Ⅱを設定する。

「考え・まとめる」過程では、「調べる」過程で学習してきた当時の時代背景を振り返りながら学習問題Ⅱについての自分の考えをもたせる。その際、学習問題Ⅰで学んだ時代背景を基に考え、話し合わせる中で、学んだ知識を活用させることにより知識の定着を図る。最後に、選挙権の変遷の資料を見せることで、一部の人にしかなかった選挙権が今は拡大していることを知らせ、現在の選挙権はどのような思いが込められているのかを想像させる。このように、選挙権の拡大がどのような意味をもつのかを考えさせ、過去の出来事が現在も社会につながっていることに気付かせることで、より良い社会について考えるきっかけになるようにしたい。

3 単元の目標

江戸時代末期から、明治時代にかけての日本の変化に関心を持ち、黒船来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法発布について資料を基に調べる活動を通して、時代が変わる原因と欧米の文化を取り入れつつ欧米に負けないように近代化を進めてきたことが分かるとともに、選挙権の拡大には人々のどのような思いが込められているのかについて考えるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代末期から明治時代への大きな変化に関心を持ち、その原因や内容について意欲的に調べている。 選挙権が一部の人にしか与えられていなかった歴史的背景や歴史を学ぶ意味について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の近代化の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 明治時代の主な事象について調べたことを根拠に、学習問題についての自分の考えを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治の新しい世の中の様子について、絵図や年表、その他の資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。 自分の考えについて、根拠となる必要な資料を選択したり、まとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米に負けない国づくりのために、様々な諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 自分たちの生活の歴史的背景を理解している。

5 単元計画（全8時間 本時1/8）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	評価(・)評価の観点【】	時配
学習問題をつかむ	○江戸時代と明治時代の資料を使って、明治時代の変化を表にまとめる。 ○変化の原因となったことやそのほかの変化について予想し、学習問題Iを考える。	○写真や絵図の資料から、西洋文化や思想を取り入れていることに気付かせ、どうして変化したのかを考えさせる中で、児童の予想や疑問を基に学習問題を設定し、問題意識をもたせる。	・我が国の近代化の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 【思】	本時 1 (1/8)
	江戸時代から明治時代には、どのようなことが原因でどのように変化したのだろう。 (学習問題I)			
調べる	○二人の思想家の考え方や解放令について調べ、学習問題Iについて考える。	○教育や二人の思想家の著者や解放令からも江戸時代とは異なる点を考えさせ、人々の思想や身分についても江戸時代からの変化があることに気付かせる。	・服装などの外から見える部分だけでなく、考え方や身分も変化したことを理解している。 【知】	1
	○黒船来航とその目的を調べ、江戸幕府が倒されるまでの様子について考える。	○開国を進めた理由を考えさせるために、同時代の諸外国の様子が分かる資料を提示する。 ○外国に負けない強い国づくりを進めたことに気付かせるために、幕府への不満や不平等な条約の内容から日本にとって不利益となるものを読み取らせる。	・江戸時代末期から明治時代への大きな変化に関心を持ち、その原因や内容について意欲的に調べている。【関】 ・江戸幕府よりも強い政府が必要と考えた若い武士たちが明治維新を進めたことが江戸時代から明治への変化の原因だということを理解している。【知】	1
	○強い国づくりに向けて大久保利通らがどのような国づくりをしたのか調べ、学習問題Iについて考える。	○諸改革によってどのような国づくりを目指したのか、改革によって生活はどのように変わったのかという視点に沿って調べさせる。	・明治政府が廃藩置県や地租改正などの諸改革を行い、欧米文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。【知】	1
	○強い国づくりを進める中で、政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べ、学習問題Iについて考える。	○国民も政治に参加しようと行動を起こしたことに気付かせるために、国会開設の要望書や国会開設を望む都道府県別の声などの資料を基に考えさせる。	・政府に不満をもつ人々の行動が、反乱から言論へと変化していったことを理解している。【知】	1

調べる	<p>○大日本帝国憲法がどのような思いで作られたかについて調べる。</p> <p>○これまで調べたことを基に、学習問題Ⅰについての考えをまとめる。</p>	<p>○主な条文から、伊藤博文の思いや憲法発布につながった不満などの思いを読み取らせ、天皇に主権があり、議会や国民の権利は弱いことを捉えさせる。</p> <p>○時代が変わる原因と政治面での変化についてまとめさせる。</p>	<p>・大日本帝国憲法の特徴について、資料を活用して調べ、天皇に強い権限があることや選挙権をもつ人は国民の一部だったことを読み取っている。【技】</p> <p>・明治時代の主な事象について調べたことを根拠に、学習問題Ⅰについての自分の考えを適切に表現している。【思】</p>	1
考え・まとめる	<p>○選挙権が一部の国民にしか与えられていないことに気付く。</p> <p>○なぜ当時は、一部の人にしか与えられていなかったのかについて疑問をもち、学習問題Ⅱを作る。</p>	<p>○前時でまとめたことを基に平等や自由という思想が広がっていた時代背景を確認する。</p> <p>○当時の15円が現在の金額に換算するといくらになるかを考えさせ、一握りの国民しか選挙権が与えられていなかったことに気付かせる。</p> <p>○選挙権が一部のみにしか与えられない状況で考えられる影響を考えさせ、予想を交流することで学習問題Ⅱの設定につなげる。</p>	<p>・自分の考えについて、根拠となる必要な資料を選択したり、まとめたりしている。【技】</p> <p>・選挙権が一部のみにしか与えられていなかった歴史的背景や歴史を学ぶ意味について考えようとしている。【関】</p>	1
なぜ明治政府は、一部のみにしか選挙権を与えなかったのだろう。（学習問題Ⅱ）				
考え・まとめる	<p>○学習問題Ⅱに対する自分の考えをまとめる。</p> <p>○考えを出し合い、話し合いながらクラスで納得のいく考えを決める。</p> <p>○選挙権の変遷の資料から、選挙権拡大には人々のどのような思いが込められているのかを考える。</p>	<p>○考えをもちやすくするために、現在の選挙権であった場合の影響を考えさせる。</p> <p>○当時の時代背景を振り返らせながら考えさせる。</p> <p>○3人グループで友達の意見を聞き合い、加除修正させることで、自分の考えに自信をもたせる。</p> <p>○歴史を学ぶ意味として選挙権の変遷により人々の願いはどうなったのかを考えさせる。</p>	<p>・明治時代の主な事象について調べたことを根拠に、学習問題Ⅱについての自分の考えを適切に表現している。【思】</p> <p>・自分たちの生活の歴史的背景を理解している。【知】</p>	1

6 本時の目標

複数の資料から分かることを基に江戸時代末期から明治時代への変化に関心を持ち、学習問題に対する自分の予想を考えることができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

7 展開(全8時間 本時1/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 江戸時代末の寺子屋の様子と明治時代の様子を見比べて、気付いたことを出し合う。 (学級全体)	○明治時代を軸として140年後と20年前の変化の大きさに気付かせるために、現在の学校の様子と明治時代の学校の様子から似ている点を調べさせる。 ○学習活動3での学習の仕方を学ばせるために、江戸時代の寺子屋と明治時代の学校を比べる際、資料に気付いた違いを書き込ませ、仕方を全体で共有する。
めあて 江戸時代と明治時代の違うところを見つけて、学習問題Iを作ろう。	
2 これまでの学習を基に、江戸時代から明治時代へと時代が変わるときにどのようなことが変化したのかを予想する。 (学級全体) 3 変化していると考えられる項目から調べる視点を決め、3人グループごとに江戸時代と明治時代の変化を見付け、資料に書き込む。 (学級全体・少人数) 4 見付けた変化をグループごとに発表する。 (学級全体) 5 調べた変化を基に、何が原因でどのように変化したのかを考え、学習問題Iを作る。 (学級全体)	○教育の他にも変化がなかったのか考えさせるために、これまでの学習で時代が変わるごとに変化していた項目(衣食住・文化・教育・学問・政治・決まり・技術・武力)を挙げさせ、学習活動3での調べる視点とする。 ○資料の読み取りに集中させるために、ランダムにテーマを与え、調べる項目を一つに絞る。 「衣」、「食」、「住」、「人々を楽しませるもの(文化)」 ○資料から変化を見付けることが苦手な児童も学習に参加できるように、グループで取り組ませる。 ○「分かること」を文章に表すことが苦手な児童がいるので、グループで話し合いながら資料に書き込み、短い言葉で変化をまとめさせる。 ○発表する意欲や聞く意欲を高めるために、調べた変化の中で、最も変化が起こったことを1つだけ発表させる。 ○それぞれが調べた変化から、江戸時代から明治時代にかけてどのように変化したと言えるかを問いかけ、児童の予想の理由を問い返す。 ○児童の予想や理由を発表させることで、追究意欲を高め、児童の言葉を使って学習問題Iを設定する。これにより、児童が疑問に思うことやもっと調べたいことを考えやすいようにする。
学習問題I 江戸時代から明治時代には、どんなことが原因でどのように変化したのだろうか。	
6 学習問題Iに対して予想し、自分の考えをまとめる。 (個人)	○まだ調べていない「考え方」、「身分」、「技術」、「武力」、「政治」について児童が予想しやすくするために、江戸時代の様子を振り返らせる。 ○これからの学習の見通しをもたせるために、学習問題Iに対する予想を、記述させる。 【評価】

8 本時の評価

評価規準	複数の資料から分かることを基に江戸時代末期から明治時代への変化に関心を持ち、学習問題に対する自分の予想を考え、適切に表現している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	学習問題Iについて、これまでの学習と本時の資料から考えられることを基に予想し、記述している。	学習問題Iについて、これまでの学習や本時の資料から考えられることを基に予想し、記述している。	(B)に達していない記述
→(B), (C)と判断した児童への支援		→これまでの学習と本時の資料からどのように変化したのかを、どちらも考えるように言葉掛けをする。	→板書を基に、予想できそうな項目を教師と一緒に選択させ、これまでの学習を振り返らせながら、その理由を考えさせる。
評価方法	ノートの記述		

9 本時の板書計画

めあて 江戸時代と明治時代のちがうところを見つけて、学習問題を作ろう。

教育

20年 140年

衣

食

住

仕事

人々の楽しみ

学習問題

江戸時代から明治時代には、どのようなことが原因でどのように変化したのだろう。

武力

政治

身分

考え方

技術

予想